



プログラム名	キャンプファイヤー		活動時間 2 時間程度
概要	<p>○火を囲みながら話したりスタンプをしたりしながら交流を深める。</p> <p>○自主研修とする。</p> <p>○最大人数 300 人</p> <p>■1 団体 2,000 円</p>		
ねらい (SDGs)	 	<p>○野外で燃えさかる火をみんなで囲みながら、厳粛さと楽しさのおりなす交流を通して、友情を深め、連帯意識を高める。</p> <p>○集団宿泊生活の思い出を深いものにする。</p>	
準備物 (服装など)	<p>○教育センター・・・薪、トーチ、衣装、音響機器</p> <p>CD：遠き山に日は落ちて、燃えろよ燃えろ 星影さやかに、今日の日はさようなら</p> <p>○研修団体・・・運動着、その他必要なもの</p>		
研修の流れ	<p>○事前準備（センター職員）</p> <p>○事前説明（センター職員から担当引率者へ）</p> <p>○集合場所に集合</p> <p>○活動開始/終了</p> <p>○片付け</p>		
研修場所	<p>集合場所</p> <p>活動場所に同じ</p>	<p>活動場所</p> <p>第1ファイヤー場 第2ファイヤー場</p>	
引率者への留意点	<p>○事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を決める。(裏面参照) ・儀式の進行およびスタンプの練習をする。 <p>○研修当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薪で囲んでいる円内には必要な場面以外入らないようにする。その薪については、途中燃やしても構いません。 ・終了後、用具の片付け、風よけの柵と煙突の設置をする。 <p>○研修翌朝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残った灰を灰捨て場へ処理し、柵と煙突を所定の場所に戻す。 ・センター職員が点検を行う。 		

研修内容

【事前準備】

- ・係決め【火の神、女神、火の守、司会者など】
- ・スタンプ決め【内容、順番など】

【活動日】

- センター職員が活動するファイヤー場に薪組みをする。

【活動直前】

- 担当引率者、担当研修生はセンター職員から説明を受ける。
 - ・トーチや衣装などの道具を受け取る。
 - ・火の守の研修生は、トーチの使い方の指導を受ける。
- ※火が付いていない時は、地面と垂直に立てるように持つ。
- ※火が付いている時は、火側を斜め上にあげ、おへそ辺りでしっかり持つ。

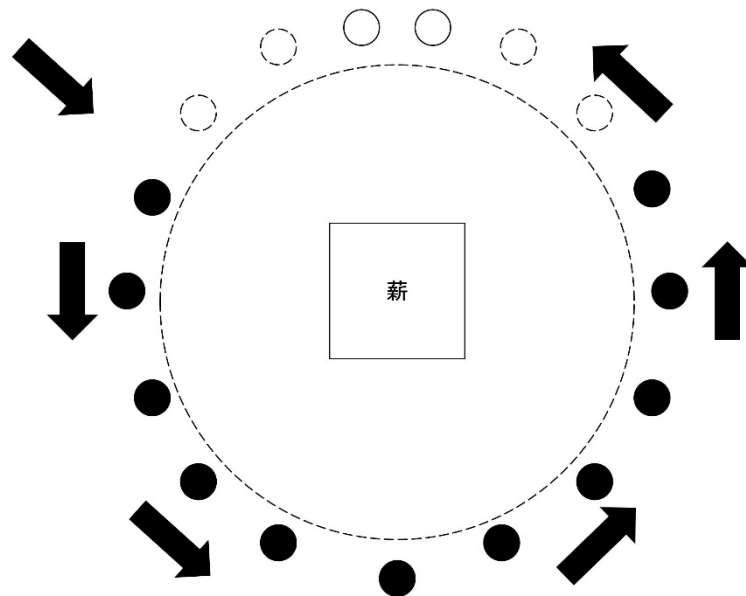
- 研修生は活動するファイヤー場に集合する。
 - ・薪のサークルより外側で並ぶ。

- 流れの例（別紙参照）

- 第1部：迎え火の部
- 第2部：スタンプの部
- 第3部：送り火の部

- 片付け

- ・活動終了後、広場端にある鉄柵と鉄煙突を設置する。
- ・翌朝、灰を集め、灰捨て場に捨てる。
- ・鉄柵と鉄煙突を元の場所に戻す。



- ：研修生 ○：火の神・女神 (○)：火の守